

新

不登校の子どもの気持ちを 感じられますか？ <全2回>

お子さんが不登校になると、とにかく何とかしてまた学校に行かせることで心が一杯になりがちですが、不登校になるにはそれなりの事情があるものです。授業の内容、先生や友だちとの関係、家族との関係など、事情はさまざまです。子どもであっても、いろんな思い、悩み、考えがあります。それは大人とて同じこと。子どもと一人のちゃんとした人間として向き合うことで、子どもは自然に心を開いてあなたに心の内を伝えてくるようになります。

では、子どもの心を開くには、子どもが何のちゅうちょもなく「お母さん／お父さん、あのね」と言い出せるようになるには、何が必要なのでしょう。まずはあなた自身が、子どもに対して脅威ではなく、安心できるパートナーになっている必要があります。キーワードは、「アタッチメント（ひつつき）」と「自発性」です。子どもにとって安心できるパートナーであること、これをどう身につけて、不登校という形で現れた子どものストレスを感じ取ることができるか。長年大学で、臨床心理学の深い知見に基づいた、学生の安心感と自発性を大切にしたい授業とゼミの運営を続けてきた石原次郎・東洋大学名誉教授から、講演と体感的な実技などを通して、その勘どころをお話しいたします。一昨年、昨年とご好評をいただいた本シリーズを再編成パワーアップしてお届けいたします。

第1回 (お申込み 6月15日から)

2026年7月25日(土) 14:00~16:00
(開場 13:30)

永福和泉地域区民センター 集会室

杉並区和泉3-8-18 電話 03-5300-9411

●京王井の頭線「永福町」駅北口 徒歩5分 ●車での来場はご遠慮ください。

参加費：無料、定員：80名

対象：幼児～中高校生の保護者、保育・教育関係者、不登校に関わる団体・施設の職員、ほか関心のある方

第2回は 2027年1月23日(土) を予定しています。

(お申込み 12月15日から)

- 要お申込み、先着順、詳細は下記または右下のQRコードからご確認ください。
- 第2回は、第1回の続編です。なお一部第1回と重複する部分もあります。
- 第1回と第2回は、それぞれ別々にお申し込みください。どちらか片方だけのお申し込みもできます。
- お申し込みは、お一人ずつ(大人)でお願いいたします。
- ご記入いただいた個人情報、連絡・受付・保険など本講座の運営にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。
- お子様のご同伴はできますが、託児サービスはありません。ご自身での管理をお願いいたします。

主催：こどもの成長を護る杉並ネットワーク

共催：杉並区教育委員会



講師：

石原 次郎

(いしはら じろう)

◇BUNTE KISTE 主宰

◇東洋大学総合情報学部名誉教授



文学修士。東北大学大学院文学研究科博士後期課程中退。東北大学文学部助手、北海道大学文学研究科助教授、東洋大学工学部教授、東洋大学総合情報学部教授。東洋大学では感性をキーワードにして全生物を包括する学術研究を試みて、「感性学」「芸術学」「美術史」「メディア表現論」などの科目を担当。感覚の特質に関する研究のほか、舞台演出、造形活動なども行う。教育の現場では北海道大学着任以来、学生との双方向授業、出欠を問わない、試験や課題レポートを行わない、成績評価を行わない、学生の制作物に対する評価を一切行わないなど、個の成熟と自主性を伸ばすことを目的とした自由教育の徹底した実践を試み続けて来た。

また、重度障がい者社会支援フォーラムに参画するなど、障がい者支援や不登校対策などに深い造詣を持ち、積極的に取り組んできた。2023年にはBUNTE KISTE を設立し、感じるワークショップを開催。人間性のより深い理解を、芸術、臨床心理、社会を感性を通して考える対話などを通して行い、また若者を中心とした各世代の自立支援に取り組んでいる。